

株式会社LIXIL × 静岡大学教育学部 塩田研究室

自分がケガをするのはどんな時？

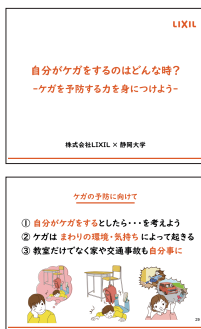
-ケガを予防する力を身につけよう-

指導者用ガイドブック

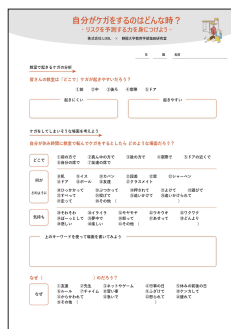
CONTENTS

この教材について	03
指導案（45分バージョン）	04
スライドを用いた授業展開例（45分バージョン）	05
ワークシート	11

この教材の内容



スライドデータ



ワークシート



指導者用ガイドブック

この教材について

この教材のねらいと活用のポイント

本教材は「自分がケガをしてしまう場面」を考える場面強制想像法を用いて、その場面を可視化し、効果的な対策アイデアを考える活動を通して、子ども達の安全意識を高めることを目的としています。そのために、大きく2つのポイントがあります。

◆ポイント① ワークシートを使って「ケガをしてしまう場面」を想像する

従来の安全教育はトラブル事例を提示し、怖がらせる授業となってしまう、ケガを自分事として捉えさせることが困難でした。そこで本教材は「どこで」「なにがどのように」「気持ち」のキーワードから「自分はケガをしてしまう場面」を考えることで、いくつかの要因が重なると「自分がケガをしてしまうかもしれない」と、ケガを自分事化することができます。

◆ポイント② 対策アイデアの考え方を学ぶ

子ども達が考えた「自分がケガをしてしまう場面」について、その対策を考えます。その時に「ケガをしてしまう場面」を分析したことを踏まえ、その要因に沿った具体的な対策アイデアを考えることができます。また、場面強制想像法やアイデア検討などのワークショップ型の授業とすることで、楽しく学べる安全教育となります。

授業の設定

■実施対象 小学生5年生、6年生

■実施時間 45分

準備するもの

- ・スライドデータ
- ・パソコン、プロジェクタ、スクリーン
- ・ワークシート 1人1枚（両面印刷の場合）
- ・指導者用ガイドブック

指導案 (45分)

時間	学習活動	準備物等
5分	1. 学校で起きるケガのデータを確認しよう <ul style="list-style-type: none"> ・学校で起きるケガのデータを確認 (ケガに関する全国データからのクイズ) ・学校では「休み時間に教室で転んで」ケガが起きやすい 	○スライドデータ
10分	2. 教室で起きるケガを考えよう <ul style="list-style-type: none"> ・3つの視点 どこで・なにがどのように・気持ち の紹介 ●個人ワーク→グループ共有 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> 皆さんの教室だと「どこで」ケガが起きやすいですか？ </div> <ul style="list-style-type: none"> ・それぞれケガが起きやすいと思う場所に違いがあることや、教室ではいろいろなケガがあることを理解する ・ケガの予防に向けた大切な考え方を伝える（1つ目） →自分がケガをするとしたらどんな時かを考えることが大切 	○スライドデータ ○ワークシート
20分	3. ケガをしてしまいそうな場面を考えよう <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> 自分が「休み時間に教室で転んで」ケガをするとしたらどのような場面だろう？ </div> <ul style="list-style-type: none"> ●個人ワーク→グループ共有 <ol style="list-style-type: none"> ①どこ・何がどのように・その時の気持ち 3つの視点からワークシートに記入する ②「そのときの気持ち」がなぜ起きたのかを考える ③その内容をグループで共有 ・ケガの予防に向けた大切な考え方を伝える（2つ目） →まわりの環境や気持ちが、怪我をする場面の原因だということ 	○スライドデータ ○ワークシート
10分	4. クラスで起きやすいケガの対策を考えよう <ul style="list-style-type: none"> ●グループワーク ・クラスで一番起きやすいケガの場面をグループの中から1つを選ぶ ・2つの視点から対策を考える <ol style="list-style-type: none"> ①本人の気持ち・行動への対策 ②まわりの環境への対策 *②を重点的に考えさせる ・考えたアイデアを発表（2、3班発表させる） ・先生/講師よりコメント ・授業のまとめ 	○スライドデータ ○ワークシート

スライドを用いた授業展開例（45分）

展開	時間	スライド	台本
導入	1分		<p>授業を始めます。 今日は安全教育についての授業を行います。 普段は、ケガなんてしないよ、と思っているかもしれませんが、 今日は自分がケガをするのはどんな時か？を考えたいと思います。</p>
			<p>今日の流れはスライドの通りです。</p>
【1】	4分		<p>1. 学校で起きるケガのデータを確認しよう</p> <p>まず、1つ目です。 学校で起きるケガのデータを確認しましょう。 ケガのデータについてクイズで皆さんと一緒に考えたいと思います。 これから、グループ活動が多くなるので まずは3、4人のグループになってください。</p>
			<p>では、第1問です。 小学校では「どんな」ケガをしていることが多いでしょう？ ① すり傷・打撲 ② ねんざ ③ 骨折 グループで考えてみてください。（30秒）</p> <p>答えは①すり傷・打撲になります。 それぞれの割合をみてみましょう。 すり傷・打撲は36%と最も多いですね。 次に骨折が26%、ねんざが17%になります。</p>
			<p>続いて第2問です。 小学校では「いつ」ケガをしていることが多いでしょうか？ ① 各教科 ② 休み時間 ③ 特別活動 各教科は国算理社体育家庭科などです。 特別活動は運動会などの行事や学級活動です。</p> <p>グループで考えてみてください。 （30秒）</p> <p>答えは、休み時間になります。 それぞれの割合をみてみると、 休み時間が48%で約半分の割合を占めていますね。 次が各教科30%、特別活動9%になります。</p>
			<p>ここでのポイントは 多くのケガは「休み時間」に起きています。 つまり、先生がいらない時に起きることも多々ありそうですね。</p>

展開	時間	スライド	台本
		<p>考えてみよう</p> <p>小学校では「どこ」でケガをしていることが多い？</p> <p>① 階段 ② 教室 ③ 校庭</p>	<p>最後に第3問です。</p> <p>小学校では「どこ」でケガをしていることが多いでしょうか？</p> <p>① 階段 ② 教室 ③ 校庭</p> <p>グループで考えてみてください。（30秒）</p> <p>答えは、校庭になります。</p>
		<p>考えてみよう</p> <p>小学校では「どこ」でケガをしていることが多い？</p> <p>① 階段 ② 教室 ③ 校庭</p> <p>その数 校庭 54% 教室 17% 階段 8%</p> <p>ポイント 校内のケガだと「教室」でよく起きている</p>	<p>追加でもう1つクイズです。</p> <p>学校の敷地全体で考えると校庭ですが、校内で考えると、階段と教室ではどちらが多いと思いますか？（30秒）</p> <p>校内で多いのは「教室」になります。</p> <p>割合をみると、校庭が54%、教室が17%、階段が8%になります。</p> <p>皆さん、全問正解できましたか？</p> <p>ケガに関する全国データからのクイズでした。</p>
		<p>ポイント</p> <p>「休み時間に教室で転んで」ケガが起きやすい</p>	<p>これらのデータをまとめると、学校のケガは「休み時間に教室で転んで」ケガが起きやすいということが言えそうですね。</p>
【2】	10分	<p>考えてほしいこと</p> <p>① 学校で起きるケガのデータを確認しよう</p> <p>② 教室で起きるケガを考えよう</p> <p>③ ケガをしてしまいそうな場面を考えよう</p> <p>④ クラスで起きやすいケガの対策を考えよう</p>	<p>2. 教室で起きるケガを考えよう</p> <p>ということで、ここからは、教室のケガについて考えていきましょう。</p>
		<p>教室で起きるケガの分析</p> 	<p>このイラストは教室でケガが起きそうなイラストになっています。少し見てください。皆さんもこのような様子でしょうか？</p> <p>あぶない様子の生徒も多いですね。少し大げさなイラストもありますね。</p>
		<p>自分が休み時間に教室で転んでケガをしたらどのような場面だろう？</p> <p>どこで ① 廊下 ② 教室 ③ 校庭 ④ 校舎内 ⑤ 校舎外 ⑥ 校舎内 ⑦ 校舎外 ⑧ 校舎内 ⑨ 校舎外 ⑩ 校舎内 ⑪ 校舎外 ⑫ 校舎内 ⑬ 校舎外 ⑭ 校舎内 ⑮ 校舎外 ⑯ 校舎内 ⑰ 校舎外 ⑱ 校舎内 ⑲ 校舎外 ⑳ 校舎内 ㉑ 校舎外 ㉒ 校舎内 ㉓ 校舎外 ㉔ 校舎内 ㉕ 校舎外 ㉖ 校舎内 ㉗ 校舎外 ㉘ 校舎内 ㉙ 校舎外 ㉚ 校舎内 ㉛ 校舎外 ㉜ 校舎内 ㉝ 校舎外 ㉞ 校舎内 ㉟ 校舎外 ㊱ 校舎内 ㊲ 校舎外 ㊳ 校舎内 ㊴ 校舎外 ㊵ 校舎内 ㊶ 校舎外 ㊷ 校舎内 ㊸ 校舎外 ㊹ 校舎内 ㊺ 校舎外 ㊻ 校舎内 ㊼ 校舎外 ㊽ 校舎内 ㊾ 校舎外 ㊿ 校舎内</p>	<p>その場面を考えると、3つの視点をお伝えします。</p> <p>どこで・なにがどのように・気持ちになります。</p>

展開	時間	スライド	台本
		<div>教室で起きるケガの分析</div> <div>皆さんの教室は「どこで」ケガが起きやすいだろう？</div> <div></div>	<p>では、皆さんの教室をイメージしてほしいのですが、皆さんの教室だと「どこで」ケガが起きやすいですか？</p> <p>①前 ②中 ③後ろ ④窓際 ⑤ドア付近</p>
		<div>教室で起きるケガの分析</div> <div>皆さんの教室は「どこで」ケガが起きやすいだろう？</div> <div>①前 ②中 ③後ろ ④窓際 ⑤ドア</div> <div><div>起きにくい</div><div>① ②</div></div> <div><div>起きやすい</div><div>③ ④ ⑤</div></div>	<p>ワークシートを見てもらうと、起きやすい、起きにくいのかに数字を入れるようになっています。では個人でどこで起きやすいかを考えてみて数字を入れてみましょう。</p> <p>●個人ワーク（60秒） ではグループで共有してみましょう。</p> <p>その時に、分類した数字とその理由も一緒に共有してみましょう。（2分）</p> <p>ありがとうございます。 では聞いてみましょう。 自分が「起きやすい」と思う場所に手を挙げてみてください。</p> <p>①～⑤ ありがとうございます。</p> <p>それぞれ起きやすいと思う場所も違いますし、グループで共有してみると、いろいろな教室のケガがあることも理解できたと思います。</p>
		<div>ケガの予防に向けて</div> <div>① 自分がケガをしたら...を考えよう</div> <div></div>	<p>次に、ケガの予防についての大切な考え方をお伝えします。</p> <p>普段、ケガについて自分はしないよ、関係ないよと考えているかもしれませんが、ケガの予防に向けて、自分がケガをしたらどんな時かを考えることが大切になります。</p>
【3】	20分	<div>考えてほしいこと</div> <div>① 学校で起きるケガのデータを確認しよう</div> <div>② 教室で起きるケガを考えよう</div> <div>③ ケガをしてしまいそうな場面を考えよう</div> <div>④ クラスで起きやすいケガの対策を考えよう</div>	<h3>3. ケガをしてしまいそうな場面を考えよう</h3> <p>ここからは具体的にケガをしてしまいそうな場面を考えてみたいと思います。</p>
		<div>考えてみよう</div> <div>自分が休み時間に教室で転んでケガをしたらどのような場面だろう？</div> <div>個人ワーク</div> <div></div>	<p>特に先ほどのデータを参考に自分が「休み時間に教室で転んで」ケガをしたらどのような場面か考えてみたいと思います。</p>
		<div>自分が休み時間に教室で転んでケガをしたらどのような場面だろう？</div> <div><div>どこで</div><div>①廊下の奥で ②廊下の奥で ③廊下の奥で</div><div>④廊下の奥で ⑤廊下の奥で</div><div>⑥廊下の奥で ⑦廊下の奥で</div></div> <div><div>何が</div><div>①廊下の奥で ②廊下の奥で ③廊下の奥で</div><div>④廊下の奥で ⑤廊下の奥で</div><div>⑥廊下の奥で ⑦廊下の奥で</div></div> <div><div>どうして</div><div>①廊下の奥で ②廊下の奥で ③廊下の奥で</div><div>④廊下の奥で ⑤廊下の奥で</div><div>⑥廊下の奥で ⑦廊下の奥で</div></div>	<p>例えば、私ならこんな時になります。 どこ：真ん中の方で 何がどのように：カバンにひっかって その時の気持ち：あせっている</p> <p>このように1つの視点で1つずつ○を入れて考えてみましょう。</p>

展開	時間	スライド	台本
		<p>自分が休み時間に教室で転んでケガをしたらどのような場面だろう？</p> <p>どこで 真ん中の教室で 何で 転んだのか 転んだとき 転んでから</p> <p>真ん中の方で あせってカバンに ひっかかって 転んでケガをした</p> 	<p>○つけができれば、 このように文章にしてワークシートに記入しておいてください。</p> <p>「真ん中の方で あせって カバンにひっかかって 転んでケガをした」</p> <p>では、個人ワークの時間をとります。（3分）</p>
		<p>真ん中の方で あせってカバンに ひっかかって 転んでケガをした</p> <p>考えてみよう</p> <p>なぜ あせっていた のだろう？</p> <p>なぜ</p> <p>①友達 ②先生 ③おやつやゲーム ④行事の目 ⑤休み時間の終わり ⑥ふざけ ⑦おしゃべり ⑧おしゃべり ⑨おしゃべり ⑩おしゃべり ⑪おしゃべり ⑫おしゃべり ⑬おしゃべり ⑭おしゃべり ⑮おしゃべり ⑯おしゃべり ⑰おしゃべり ⑱おしゃべり ⑲おしゃべり ⑳おしゃべり</p>	<p>皆さん途中だと思いますが、 一旦、手をとめて前を見てください。 もう1つ追加で作業をお願いします。</p> <p>私の場合はケガする時の気持ちは 「あせって」でした。 この「気持ち」がなぜ起きたのかを考えてみましょう。</p> <p>ワークシートの空欄に皆さんが選んだ気持ちを書いて、 なぜかも一緒に考えてみてください。</p>
		<p>真ん中の方で あせってカバンに ひっかかって 転んでケガをした</p> <p>考えてみよう</p> <p>なぜ あせっていた のだろう？</p> <p>なぜ</p> <p>①友達 ②先生 ③おやつやゲーム ④行事の目 ⑤休み時間の終わり ⑥ふざけ ⑦おしゃべり ⑧おしゃべり ⑨おしゃべり ⑩おしゃべり ⑪おしゃべり ⑫おしゃべり ⑬おしゃべり ⑭おしゃべり ⑮おしゃべり ⑯おしゃべり ⑰おしゃべり ⑱おしゃべり ⑲おしゃべり ⑳おしゃべり</p>	<p>例えば、私の場合は、 あせっている理由はチャイムが鳴ったからです。 チャイムが鳴ると急がなきゃと思い、 ついついあせってしまいます。</p>
		<p>自分が休み時間に教室で転んでケガをしたらどのような場面だろう？</p> <p>どこで 真ん中の教室で 何で 転んだのか 転んだとき 転んでから</p> <p>★ なぜ 転んだのか</p> <p>真ん中の方で チャイムで あせってカバンに ひっかかって 転んでケガをした</p> 	<p>つまり、 私がケガをする場面をまとめると、 真ん中の方で チャイムで あせって カバンにひっかかって 転んでケガをした</p> <p>ということになります。</p> <p>では、もう2分ほど時間をとるので それぞれのケガが起きそうな場面を 考えてみてください。（2分待つ）</p>
		<p>自分がケガをしてしまいそうな場面を グループで共有しよう</p> <p>グループワーク</p>	<p>ありがとうございます。 では、その内容をグループで共有してみましょう。</p> <p>ここで、1点注意点ががあります。 グループで共有するときに、 友達のケガの場面を聞いて「そんな場面ありえないだろ」などと 批判するのではなく、そんな場面になるとあせるんだね、 ケガするんだね、と共感することを意識してください。</p> <p>また、自分が予想していなかったケガの場面も 見つかると思うので 学び合うことを意識してください。 ではグループで共有しましょう。（3分）</p> <p>グループで意見共有してもらいありがとうございます。 様々な意見が出ましたね。 （時間があれば2、3人に発表してもらおう）</p>

展開	時間	スライド	台本
		<p>ケガの予防に向けて</p> <p>① 自分がケガをするとしたら・・・を考えよう ② ケガは まわりの環境・気持ち によって起きる</p> 	<p>ここで、ケガの予防に向けた大切な考え方の2つ目をお伝えします。</p> <p>1つ目は先ほども伝えたように自分がケガをする場面を考えるということですね。 2つ目は、まわりの環境や気持ちによってケガをする場面が起きるといことです。</p> <p>このようにケガが起きた時はただ単に不注意だったな、で終わるのではなく、ケガをした時に「まわりの環境や気持ち」に注目してみるとその原因も明らかになるとと思います。</p>
【4】	10分	<p>考えてほしいこと</p> <p>① 学校で起きるケガのデータを確認しよう ② 教室で起きるケガを考えよう ③ ケガをしてしまいそうな場面を考えよう ④ クラスで起きやすいケガの対策を考えよう</p> 	<p>4. クラスで起きやすいケガの対策を考えよう</p> <p>最後に、ケガの対策についても考えていきましょう。 ここからは、自分のケガだけでなくクラスのケガの対策を考えていきましょう。</p>
		<p>考えてみよう</p> <p>グループで 一番起きやすいケガの場面を1つ選ぼう</p> <p>※発表だけでなく「クラスでの発表も、考えてみよう」</p> <p>グループワーク</p> 	<p>まず、クラスで一番起きやすいケガの場面をグループの中から1つを選びましょう。 (時間がない場合はじゃんけんで決めます)</p> <p>各グループで1つに決まりましたか？ どんな場面になったか聞いてみましょう。(2、3班発表させる)</p>
		<p>真ん中の方でチャイムであせっていてカバンにひっかかって転んでケガをした</p> <p>2つの視点</p> <p>① 本人の気持ちへの対策 ② まわりの環境への対策</p> 	<p>ここからは対策についてです。 例えば、私のグループでは真ん中の方でチャイムであせっていてカバンにひっかかって転んでケガをした場面の対策を考えます。</p> <p>対策を考える時には2つの視点が大切です。 1つ目に本人の気持ちへの対策です。 2つ目にまわりの環境への対策です。</p>
		<p>真ん中の方でチャイムであせっていてカバンにひっかかって転んでケガをした</p> <p>2つの視点</p> <p>① 本人の気持ちへの対策 ⇒ あせらないようにチャイムが鳴る前に席につく ② まわりの環境への対策 ⇒ 床にカバンを置かないルールを作る</p> 	<p>例を挙げると、</p> <p>① 本人の気持ちへの対策ではチャイムであせってしまうのであせらないようにチャイムが鳴る前に席につくように意識をします。</p> <p>② まわりの環境への対策では、あせってしまうのはしょうがないですし、なかなか直らない部分もあるので、あせってしまうことを前提に、「床にカバンを置かないルールを作る」ことです。 こうすると、あせってもカバンがないので、ケガをしない可能性が高くなりますよね。</p> <p>このように、対策を考える時は本人の気持ちへの対策とまわりの環境への対策の2つの視点で考えるようにしてください。</p>

展開	時間	スライド	台本
		<p>考えてみよう</p> <p>2つの視点で ケガの対策アイデアを考えてみよう</p> <p>① 本人の気持ちへの対策</p> <p>② まわりの環境への対策</p>	<p>今回は時間がないので、 特に②まわりの環境への対策を 重点的に考えてみましょう。（3分）</p> <p>考えたアイデアを発表してください（2、3班発表させる）</p> <p>先生・講師よりコメントする。</p>
		<p>ケガの予防に向けて</p> <p>① 自分がケガをするとしたら・・・を考えよう</p> <p>② ケガは まわりの環境・気持ち によって起きる</p> <p>③ 教室だけでなく家や交通事故も 自分事 に</p> 	<p>短い時間でしたが、対策アイデアを考えてもらい ありがとうございました。</p> <p>最後に授業のまとめです。 ケガの予防に向けた大切な3つの考え方を伝えます。 1つ目に、自分はケガをしないではなく 「ケガをするとしたらどんな場面だろう？」と 考えることが大切です。</p> <p>次に、そのケガの場面は まわりの環境・気持ち によって 起きることが分かりました。</p> <p>また、その場面に合わせて対策を考えてもらいました。</p> <p>最後に、今日考えた場所は教室でしたが、 教室だけでなく、家や交通事故も同じように 考えることができます。 自分は事故しないだろう、ではなく、交通事故にあうとしたら どんな場面だろう？その時はどんな環境や気持ちだろう、と 自分事として考えるようにしてください。</p>

ワークシート①

自分がケガをするのはどんな時？

- リスクを予測する力を身につけよう -

株式会社 LIXIL × 静岡大学教育学部塩田研究室



年 組 名前

教室で起きるケガの分析

皆さんの教室は「どこで」ケガが起きやすいだろう？

①前 ②中 ③後ろ ④窓際 ⑤ドア

起きにくい

起きやすい

ケガをしてしまいそうな場面を考えよう

自分が休み時間に教室で転んでケガをするとしたら どのような場面だろう？

どこで

①前の方で ②真ん中の方で ③後ろの方で ④窓際で ⑤ドアの近くで
⑥自分の席で ⑦友達の席で

何が

⑧机 ⑨イス ⑩カバン ⑪段差 ⑫窓 ⑬シャーペン
⑭ドア ⑮ボール ⑯友達 ⑰クラスメイト

どのように

⑱ひっかかって ⑲ぶつかって ⑳押されて ㉑よけて ㉒遊びで
㉓すべって ㉔投げて ㉕追いかけて ㉖追いかけて
㉗走って ㉘その他 ()

気持ち

㉙そろそろ ㉚イライラ ㉛モヤモヤ ㉜ウキウキ ㉝ワクワク
㉞ぼーっとして ㉟夢中で ㊱怒って ㊲あせって ㊳どんより
㊴悲しい ㊵楽しい ㊶その他 ()

上のキーワードを使って場面を書いてみよう

なぜ () のだろう？

なぜ

①友達 ②先生 ③ネットやゲーム ④行事の日 ⑤休みの前後の日
⑥ルール ⑦チャイム ⑧習い事 ⑨ふざけて ⑩ケンカして
⑪からかわれて ⑫急いで ⑬怒られて ⑭疲れて
⑮その他 ()

ワークシート②

グループワーク用

ケガをしてしまいそうな場面を考えよう

自分が休み時間に教室で転んでケガをしたら どのような場面だろう？

どこで

- ①前の方で ②真ん中の方で ③後ろの方で ④窓際で ⑤ドアの近くで
⑥自分の席で ⑦友達の席で

何が

どのように

- ⑧机 ⑨イス ⑩カバン ⑪段差 ⑫窓 ⑬シャーペン
⑭ドア ⑮ボール ⑯友達 ⑰クラスメイト
⑱ひっかかって ⑲ぶつかって ⑳押されて ㉑よけて ㉒遊びで
㉓すべって ㉔投げて ㉕追いかけて ㉖追いかけてられて
㉗走って ㉘その他 ()

気持ち

- ㉙そわそわ ㉚イライラ ㉛モヤモヤ ㉜ウキウキ ㉝ワクワク
㉞ぼーっとして ㉟夢中で ㊱怒って ㊲あせって ㊳どんより
㊴悲しい ㊵楽しい ㊶その他 ()

なぜ () のだろう？

なぜ

- ①友達 ②先生 ③ネットやゲーム ④行事の日 ⑤休みの前後の日
⑥ルール ⑦チャイム ⑧習い事 ⑨ふざけて ⑩ケンカして
⑪からかわれて ⑫急いで ⑬怒られて ⑭疲れて
⑮その他 ()

上のキーワードを使って場面を書いてみよう

2つの視点でケガの対策アイデアを考えてみよう

① 本人の気持ちへの対策

② まわりの環境への対策